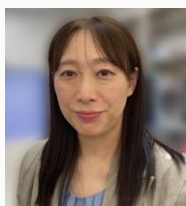


加藤 将先生(賛助会員)よりメッセージ

患者さんやご家族、支援団体の皆様が積み重ねてこられた活動は、医療者側にとっても多くの学びにつながっています。こうした双方向のコミュニケーションが、より良い医療や研究の発展につながっていくことを期待しています。
富山大学 第一内科 教授 加藤 将



西澤 公美先生(賛助会員)よりメッセージ



はじめまして、信州大学の教員で理学療法士の西澤公美と申します。普段はデュシェンヌ型筋ジストロフィー患者さんの研究や臨床業務を行っています。HPP患者さんの対応経験は少ないため、HPP HOPEの活動を通して学ばせていただきたいと思います。
また、小野澤さんを中心に患者さんやご家族様の課題に真摯に向き合い、活動を進めておられる姿勢に強く共感しています。今後のHPP領域の支援や研究の発展を期待しています。
信州大学医学部保健学科理学療法学専攻 教授 西澤 公美

直近の活動報告

- 医師の方々との接点づくりを進めており、賛助会員としてご参画くださる先生方も少しずつ増えてきました。また今後の配信や関係者との継続的なコミュニケーションの構築に向け、先月応募したSalesforceのNPO向けプログラムに採択されました。
- 成人の患者さんの診断までの長い道のりや悩みを整理し、今後の支援や解決策につなげる取り組みについて協力のご相談をいただいています。詳細が分かり次第ご共有します。

5月の新入会のご紹介

新たに3名の方がご登録くださいました。ご案内等を進めています。

先生のご紹介

次回以降も随時先生方からのメッセージをご紹介差し上げます。ぜひお楽しみに！

今後の予定など



- 交流会情報
5月30日（土）に実施しました。
- その他
来月号では交流会の内容等もご共有できればと思っています。また、掲載してほしい内容や調べて欲しい内容等がありましたらお気軽に小野澤までご連絡ください。

HPP HOPEでは、患者さん・ご家族の声を医療や社会につなぐため、今後も医療者の皆様との連携を丁寧に広げていきます。引き続き、一歩ずつ、できることを形にしていきます。代表 小野澤 侑



公式サイト：<https://patient-rd.com/>
発行元：NPO法人 HPP HOPE
お問い合わせ：y.onozawa@patient-rd.com



NPO法人HPP HOPEでは、当団体の理念に賛同いただき、低ホスファターゼ症の根治に向け、ご支援・サポートいただける方（1口100円からのご寄付や、個人・法人会員等）を募集しています。